

日経IR・個人投資家フェアー2023

会社説明資料

高島株式会社 証券コード8007

2023年9月2日（土）



TAK 高島株式会社

高島の事業は？



会社概要

高島の業績は？



会社業績

高島の今後の
成長性は？



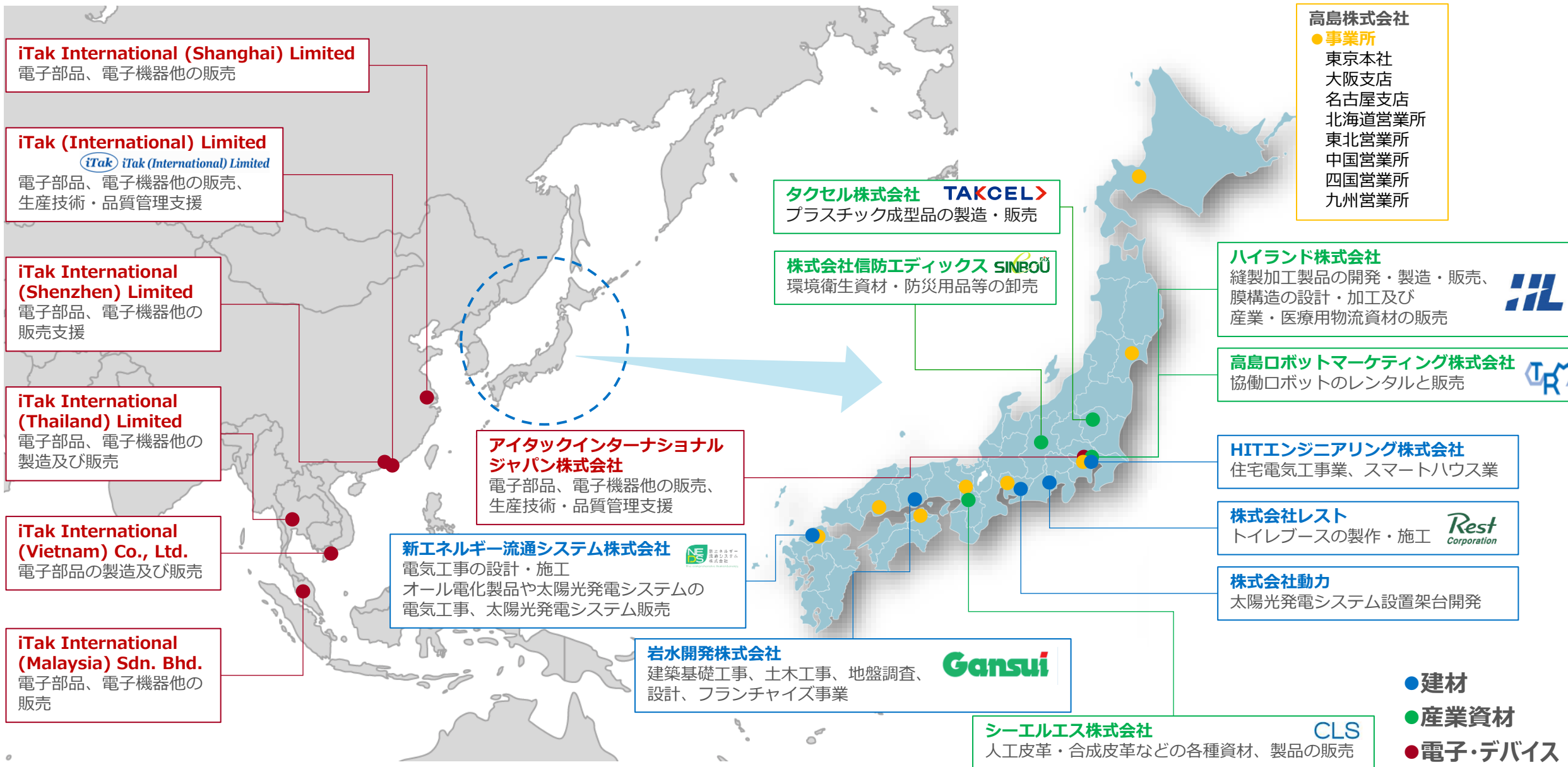
中期経営計画サステナ**V**(バリュー)
東証プライム市場上場維持基準

1. 会社概要

商号	高島株式会社 Takashima & Co., LTD.
代表者	代表取締役社長 高島幸一
創業年月日	1915年10月1日（大正4年） 創業107周年
創立年月日	1931年12月1日（昭和6年）
事業内容	建材、産業資材、電子デバイスを取り扱う専門商社
資本金	38億127万円
連結売上高	79,683百万円（2023年3月期）
従業員数	連結1,010名 単体249名（2023年3月末時点）
決算期日	年1回 3月31日
上場市場	東京証券取引所プライム市場、証券コード：8007



高島グループネットワーク

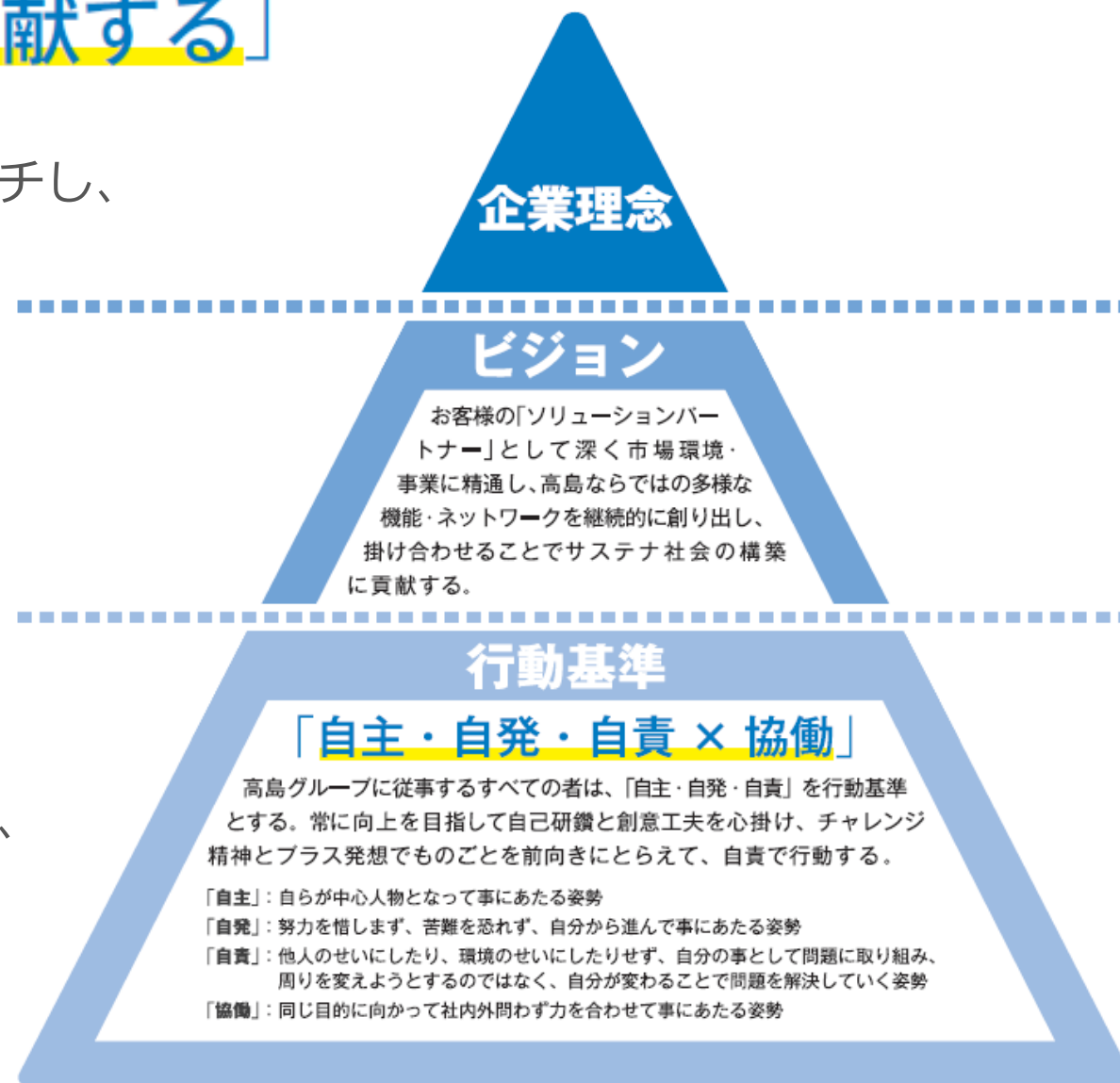


企業使命 「事業を通じて社会に貢献する」

高島グループは、オリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていきたい。そして、世の中に役立つことにより、その結果として高島グループも発展する・・・そんな企業グループでありたい。

経営姿勢 「誠実一筋」

高島グループに従事するすべての者は、誠意をもって約束を守り、明るく素直で、また謙虚で、感謝の念を忘れず、法令遵守はもとより、規律を守り、正しいマナーを身につけることにより、信用と信頼を蓄積していく。



事業の変遷

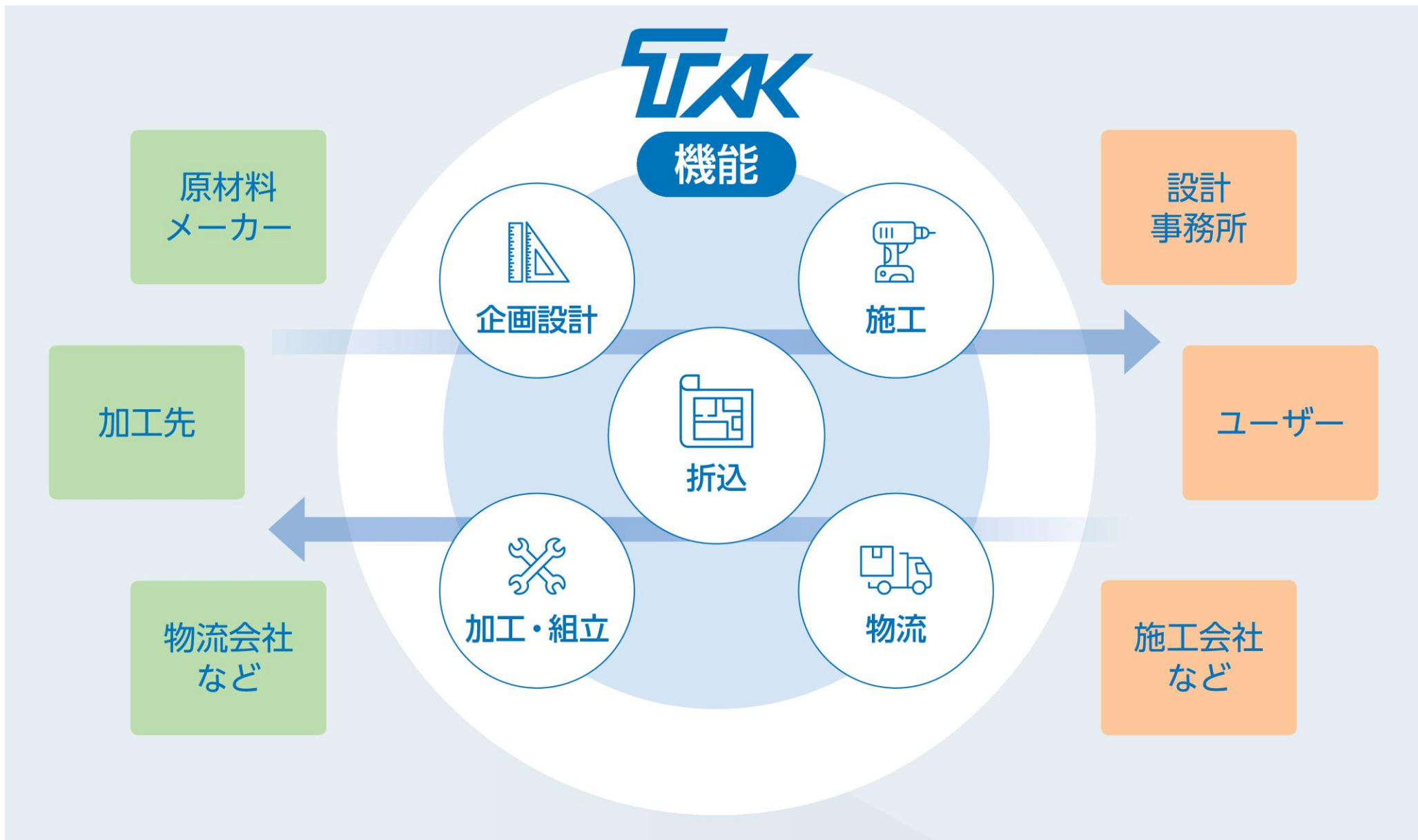
当社の長年の歴史の積み重ねによる事業基盤や人財の多様性と、外部環境変化や内部環境危機に対応する力を活かし（進化X適合）、更なる成長を目指しています



1923年 関東大震災
テント500張りを納入

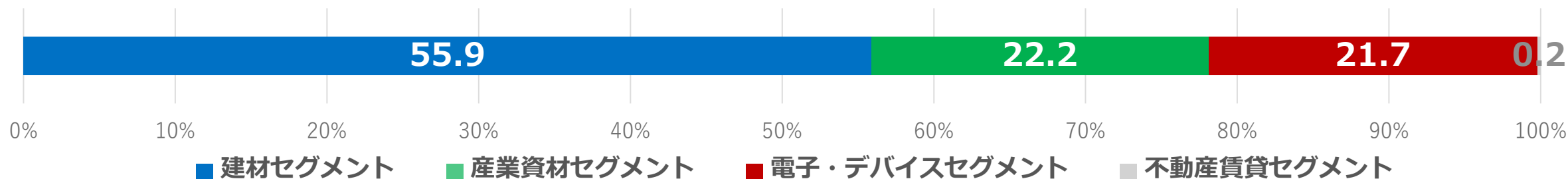


皇居前広場のテント村



セグメント別売上高構成

2023年3月期 売上高 79,683百万円



建材セグメント

大型・非住宅建築物、住宅建築物向けに壁材、基礎杭工法、断熱材、太陽光パネル関連資材、インテリアなど、建設・建装に関わる様々な商材を取り扱っています。

販売・工事ネットワークを構築し、企画、設計から施工までの幅広いソリューションを提供しています。



産業資材セグメント

繊維資材、樹脂部材、樹脂部材・機能資材など多種多様な商材を取り扱っています。

当社とグループ会社は、設計・製造・加工・販売において連携し、お客さまへ複合的な価値を提供しています。



電子・デバイスセグメント

デバイスでは、お客さまのニーズを捉え、アジアを中心としたメーカーより電子部品を調達し供給する電子部品販売ビジネスを行っています。

アSEMBリでは、タイの自社工場を活用し、白物家電や幅広い製品に対して、基板実装（EMS）を行う製造受託ビジネスを行っています。



物流倉庫の中の高島

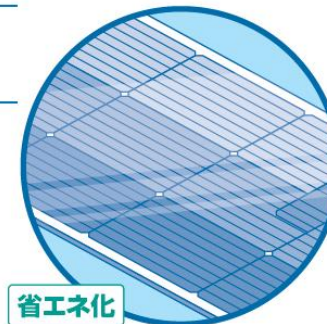


省力化

産業資材セグメント
樹脂関連資材

部品輸送用樹脂トレイ

EV用の駆動モーター等の車載・電装部品を輸送する際の搬送・出荷用資材として、最適な工業包装製品のご提案を行っています。

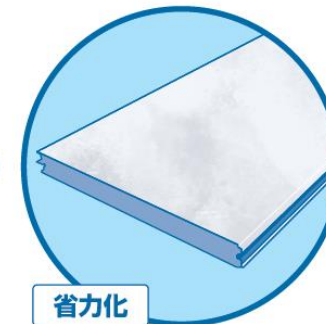


省エネ化

建材セグメント
再生可能エネルギー資材

自家消費型太陽光発電システム

屋根に設置した太陽光発電システムで発電した電気を使うことで、省エネ化につながっています。



省力化

建材セグメント
建設資材

耐火間仕切り

防火基準をクリアし、遮音性も高い間仕切り壁で、効率的な施工が可能です。



省力化

建材セグメント
建設資材

くい打ち工事

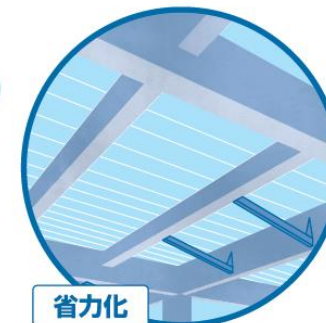
その上に建てる建物と、建てる場所の地盤に最も適した基礎杭工法・地盤改良工事を提供しています。



省力化

建材セグメント
建設資材

地盤改良工事

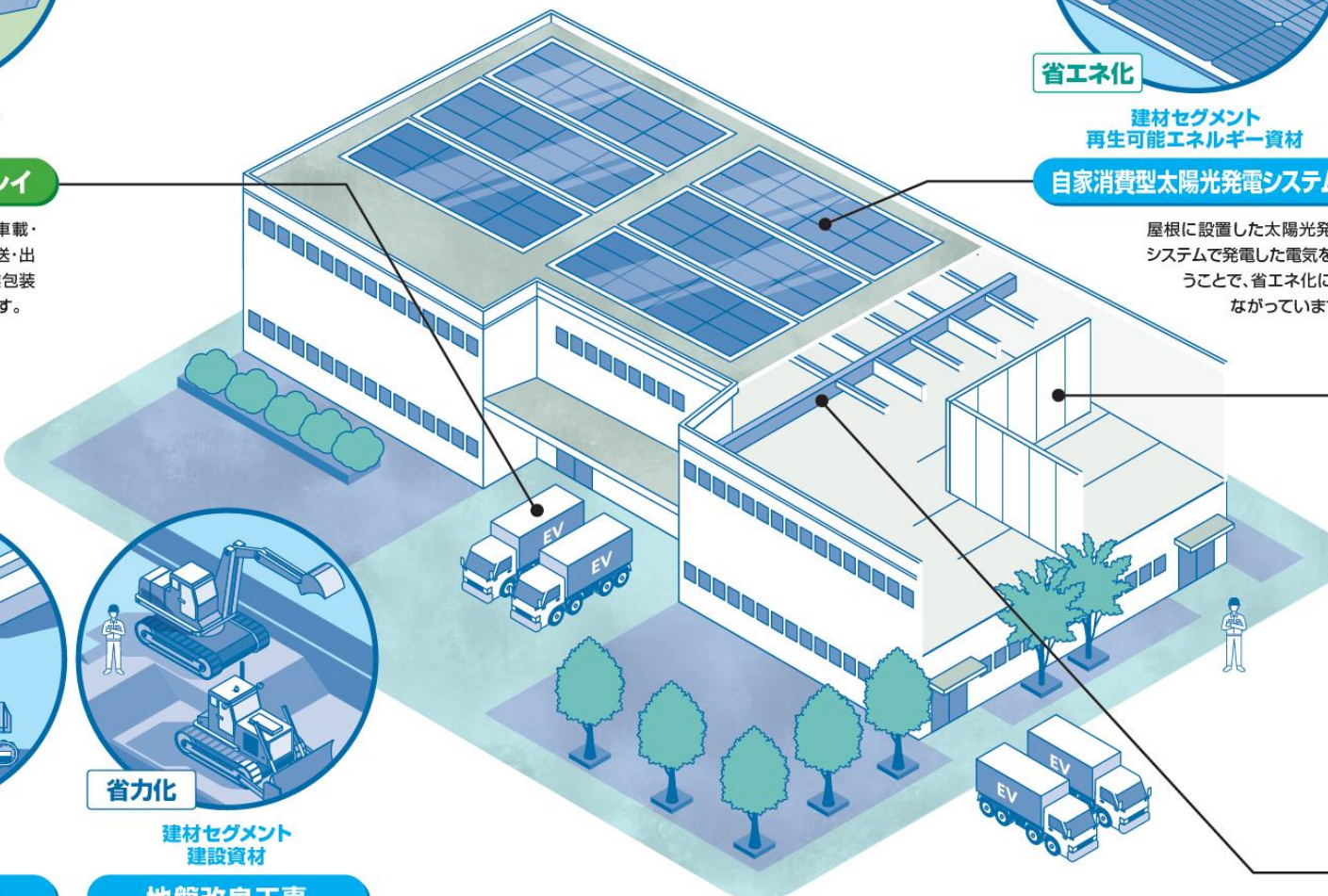


省力化

建材セグメント
建設資材

巻付け耐火被覆材

安定した品質、高い施工を誇り、施工環境の改善も可能となる新しい耐火被覆材です。



くらしの中の高島



省力化

**電子・デバイスセグメント
デバイス**

イヤホン・ヘッドホンデバイス

スピーカーやレシーバーなど幅広い用途の音響部品を取り扱い、お客様にとって最適なご提案をしています。



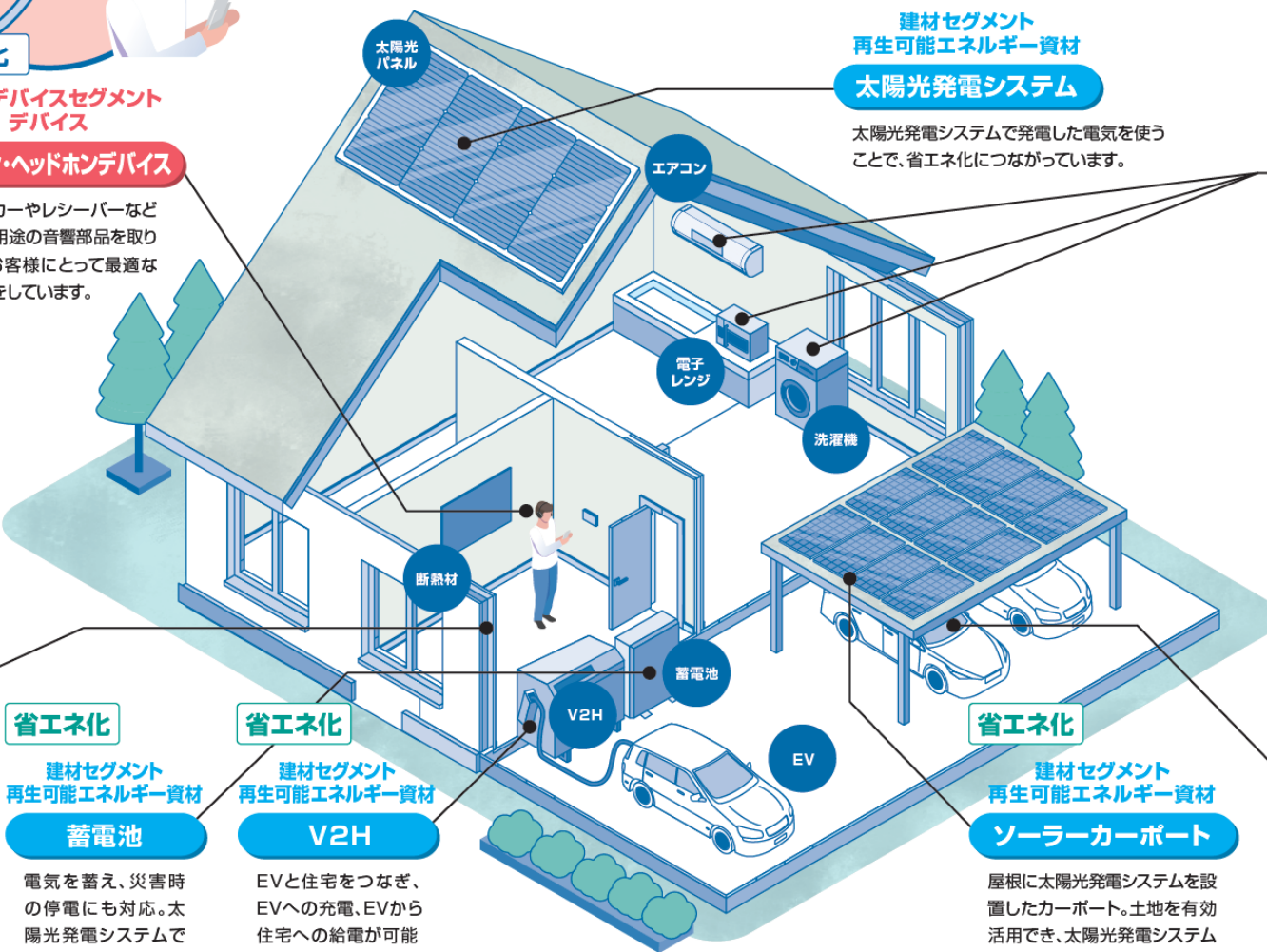
省力化

省エネ化

**建材セグメント
住宅資材**

住宅用断熱パネル

高い断熱性を持つ断熱材と、壁用のパネルを一体化することで、作業効率の向上が図れます。

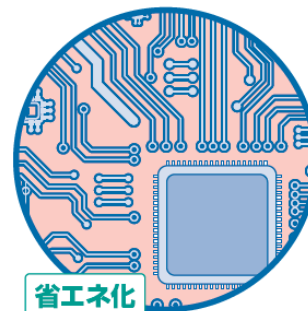


省エネ化

**建材セグメント
再生可能エネルギー資材**

太陽光発電システム

太陽光発電システムで発電した電気を使うことで、省エネ化につながっています。

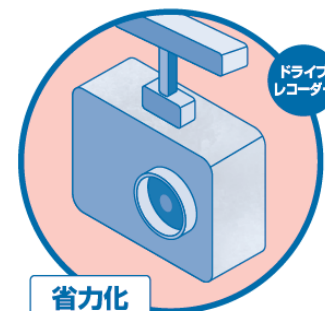


省エネ化

**電子・デバイスセグメント
アセンブリ**

**白物家電向けアセンブリ
デバイスの供給**

タイ自社工場では白物家電向け基板実装を行っています。またベトナム自社工場では家電や健康機器向けにLCDを生産。その他、省エネ・インバータ技術を支えるデバイスを提供しています。



ドライブレコーダー

省力化

**電子・デバイスセグメント
アセンブリ**

ドライブレコーダーアセンブリ

ドライブレコーダーのアセンブリも実施。品質第一主義を掲げ、質の高い商品を提供しています。

省エネ化

**建材セグメント
再生可能エネルギー資材**

蓄電池

電気を蓄え、災害時の停電にも対応。太陽光発電システムで発電した電気を蓄えることも出来ます。

省エネ化

**建材セグメント
再生可能エネルギー資材**

V2H

EVと住宅をつなぎ、EVへの充電、EVから住宅への給電が可能となり、EVを蓄電池として使えます。

省エネ化

**建材セグメント
再生可能エネルギー資材**

ソーラーカーポート

屋根に太陽光発電システムを設置したカーポート。土地を有効活用でき、太陽光発電システムが設置できます。



自家消費型太陽光発電システムとは、

施設の屋根や、ソーラーカーポートに設置した太陽光発電パネルによって発電した電力を、
自社工場や店舗で使用(自家消費)する太陽光発電システム



電動車へ充電

V2H機器

家庭に給電

EV部品向け物流資材の成型例



真空成形トレイ



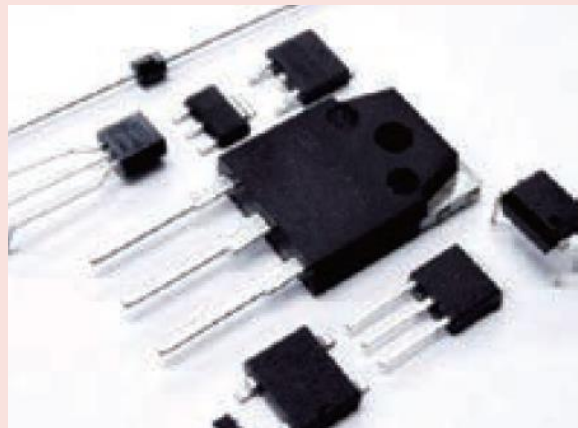
発泡成形トレイ

繊維資材

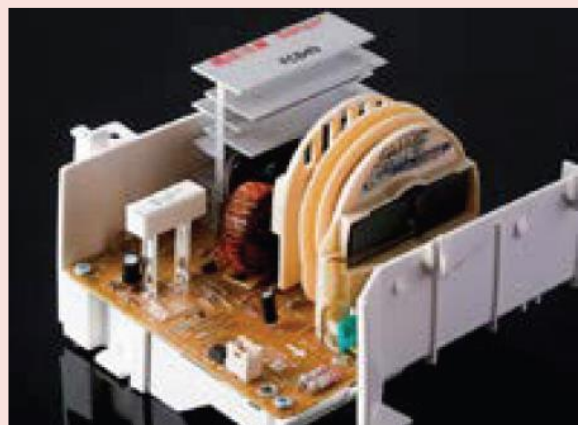


クラリーノ

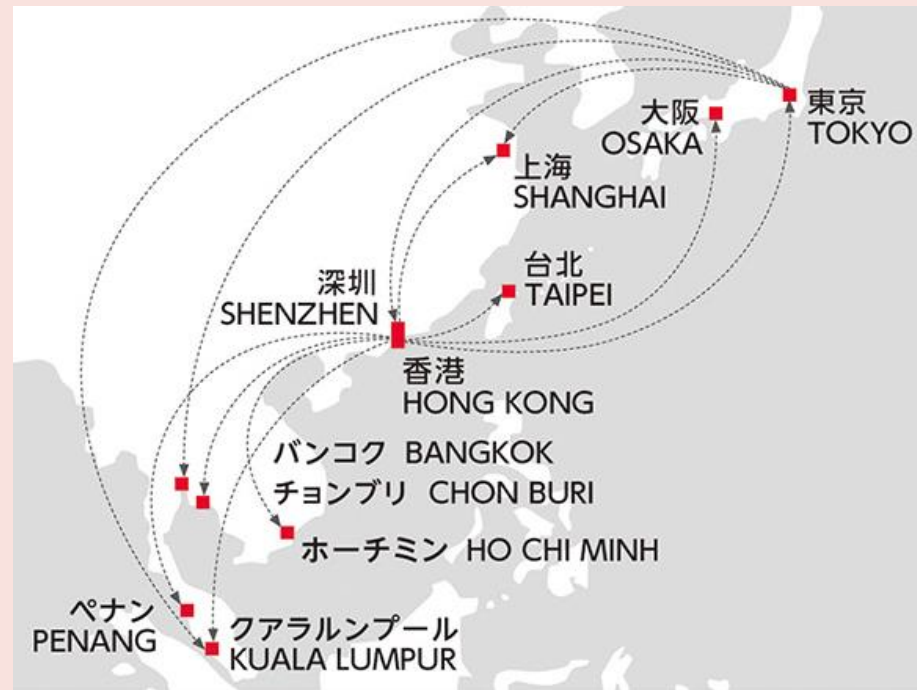
デバイス



アセンブリ



iTak (International) Limited 拠点



2. 会社業績

2023年3月期 連結業績 P/L

- ✓ 売上高は、建材セグメント、電子・デバイスセグメントの好調により増収
- ✓ 販売費及び一般管理費は、業績拡大に向けた営業活動の増加、システム投資の増加、M&A実施に付随する費用の発生により増加
- ✓ 営業利益は、販管費増加にもかかわらず、増益
- ✓ 当期純利益は、政策保有株式の売却益等により増益、過去最高益

(単位：百万円)

科目	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前年比
売上高	74,054	79,683	5,629	7.6%
営業利益	1,547	1,764	216	14.0%
営業利益率	2.1%	2.2%	0.1pt	-
経常利益	1,840	1,939	98	5.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,296	1,585	289	22.3%

指標	2022年3月期	2023年3月期	増減
ROE	7.2%	8.3%	1.1pt
ROIC	5.2%	5.0%	△0.2pt
株主資本コスト	6.2%	6.3%	0.1pt
WACC	4.0%	3.9%	△0.1pt

2024年3月期第1四半期決算概要

- ✓ 売上高は、電子デバイスセグメントが減収となったものの、建材セグメントの好調により、前年同期比11.9%の増益
- ✓ 販売費及び一般管理費は、投資活動に係る経費および業績拡大に向けた営業活動の経費が増加
- ✓ 営業利益は、販管費増加にもかかわらず、前年同期比131.5%の増益
- ✓ 当期純利益は、前年同期比116.8%の増益

(単位：百万円)

科目	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	前年比
売上高	17,674	19,775	2,101	11.9%
営業利益	188	436	248	131.5%
営業利益率	1.1%	2.2%	1.1pt	-
経常利益	300	591	290	96.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	191	415	223	116.8%

2024年3月期 連結業績予想

- ✓ 売上高は、前年比11.7%増加の890億円
- ✓ 当期純利益は、前年比0.9%増加の16億円

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 予想	増減額	前年比
売上高	79,683	89,000	9,316	11.7%
営業利益	1,764	1,800	35	2.0%
営業利益率	2.2%	2.0%	-	△0.2pt
経常利益	1,939	1,900	△39	△2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,585	1,600	14	0.9%

3. 中期経営計画 サステナV (バリュー) (2024年3月期-2026年3月期)

次期中期経営計画 サステナVは「カーボンニュートラル社会の実現（2050）」に向けて変化する、市場の成長機会を捉えた戦略組み立て（価値創造）により、サステナ社会への適応と持続的成長を同時実現する



省エネ化・省力化ニーズへ新たな価値を創造

価値創造

市場の
成長機会

培ってきた機能

【建材】

国内全国調達販売網

- 国内営業8拠点
- 国内外メーカー調達

企画、設計、施工機能

- 設計会社ネットワーク
- 再生可能エネルギー事業
施工会社獲得

【電子・デバイス】

海外デバイスの販売展開

- 国内外営業11拠点

アセアンでの自社生産

- タイ、ベトナム工場開設

【産業資材】

自動車・エレクトロニクス 向け緩衝設計、製品・金 型成形機能

- グループ2社（樹脂分野）

戦略領域

省エネ化と省力化の2つの柱

再生可能エネルギー関連事業の拡大

太陽光パネル、蓄電システム、V2H、急速充電器

省エネルギー関連事業の拡大

断熱材、省エネデバイス・モジュール・アセンブリ

環境対応

EV、精密機器向け物流資材

省力化貢献関連事業の拡大

耐火・断熱・耐震等の機能建材、省力工法

成長



エネルギーを取り巻く
課題を背景とする
省エネ化ニーズへの対応

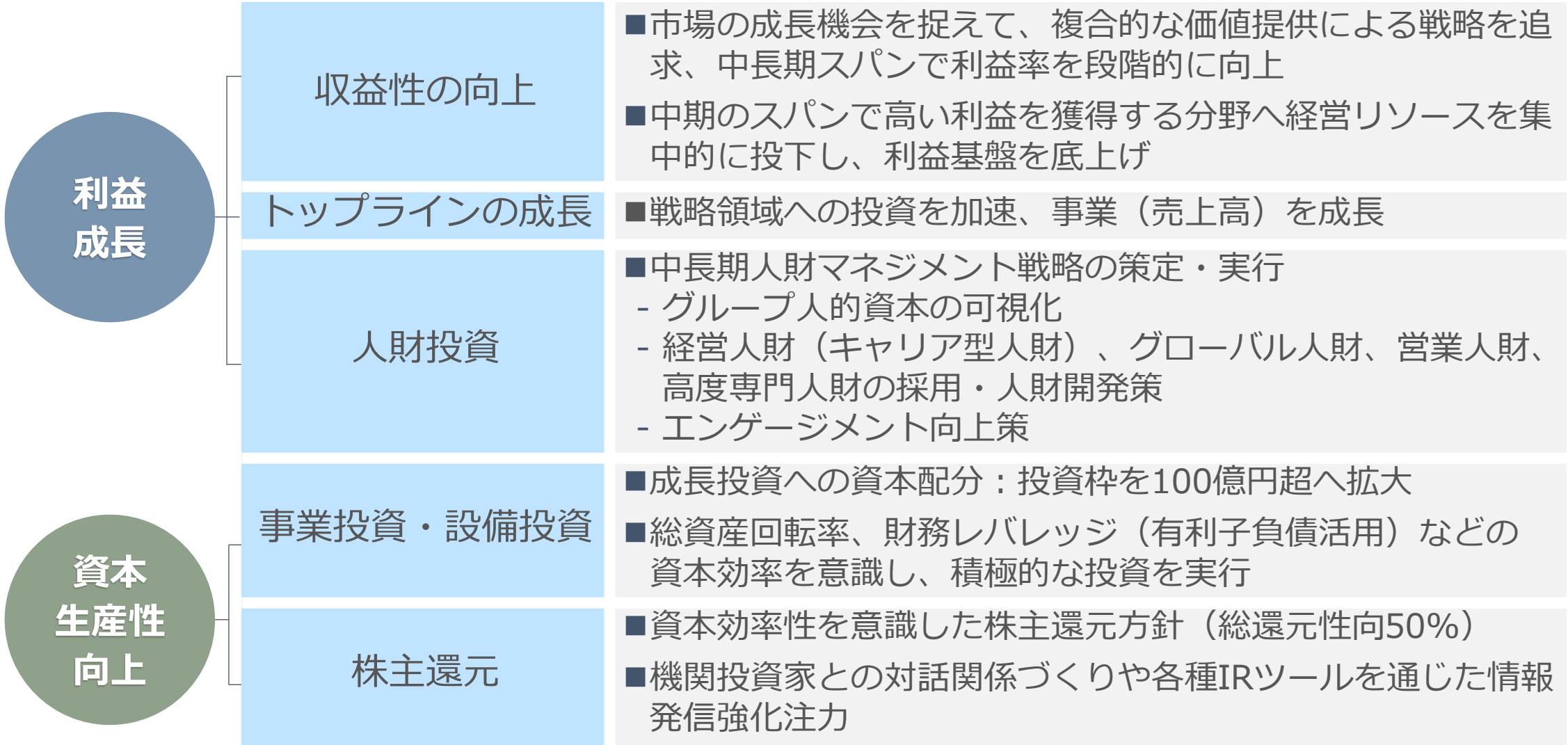


顕在化している
省力化市場ニーズへの
対応

中期経営計画サステナV（バリュー）の基本方針

利益成長×資本生産性向上を実現し企業価値を向上

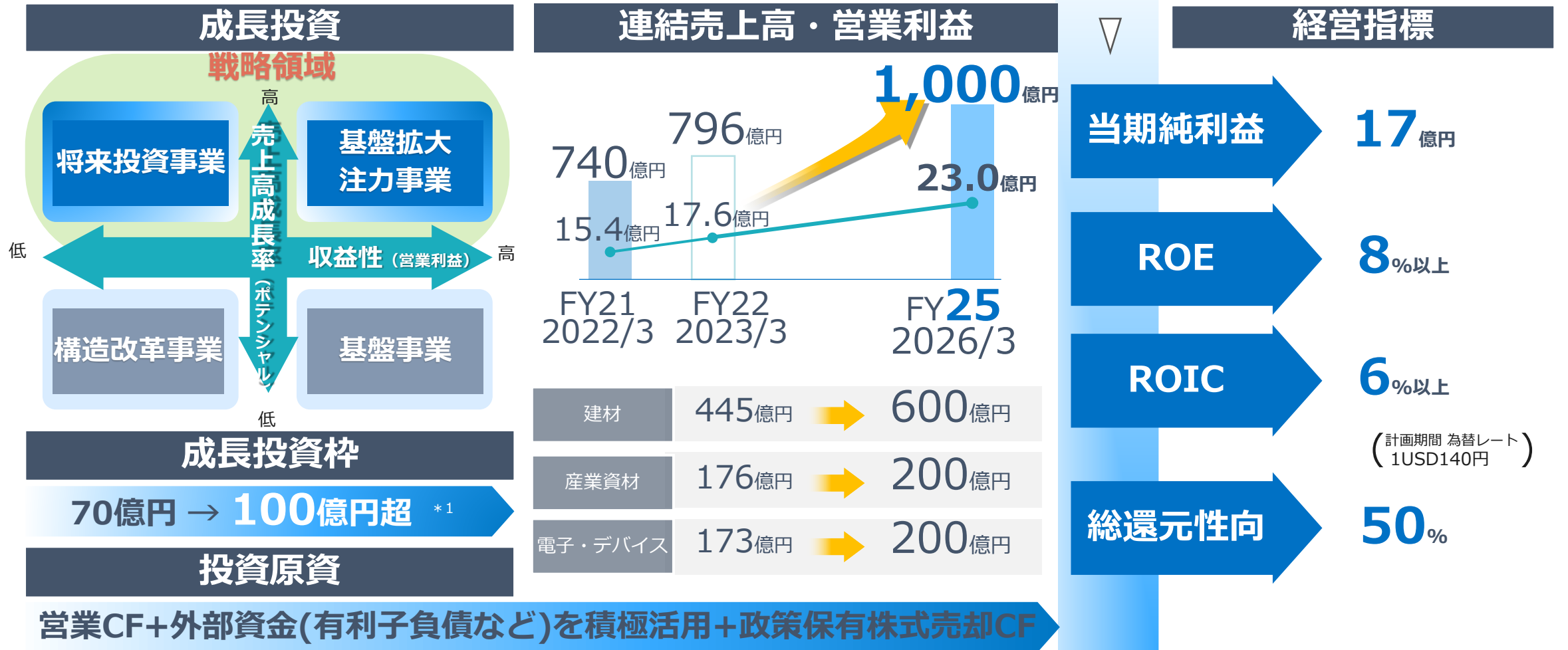
企業価値の向上



中期経営計画サステナV（バリュー）の経営指標・財務方針

次期中期経営計画最終年度（2026年3月期）の当期純利益17億円達成を目指し、成長を重視した経営指標・財務方針を設定

25年3月期の上場維持基準の経過措置終了を踏まえ追加施策を検討中



*1 2022年11月14日開示（「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」、 「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」 更新に関するお知らせ）にて修正

設定した投資枠の進捗状況

- 100億円超へと拡大した投資枠に対して、**85.7億円**の投資を実行済み。
- 投資リターンを伴う投資については継続して実施予定。

	実績 (2022年3月期～2023年3月期)	中期経営計画 サステナV (バリュー) (2024年3月期～2026年3月期)	
M&A	<p>19.0億円 2件のM&A (新エネルギー流通システム株式会社、 信防エディックス) M&A検討コスト</p>	<p>30億円以上 既存事業、周辺領域の拡大に 資するM&Aの実行</p> <p>51.8億円 M&A実行済 岩水開発株式会社</p>	
工場・設備	<p>8.3億円 自社工場及び設備の維持更新・増強投資</p>	<p>25億円 自社工場及び設備の 維持更新・増強投資</p>	
人財・IT他	<p>6.5億円 採用/エンゲージメントサーベイなど 基幹システム刷新 IR強化など</p>	<p>10億円 中長期人財マネジメント戦略策定・実行 DX、IR強化など</p>	
実行済額	33.9億円	66.1億円超のうち、 51.8億円実行済	85.7億円

新エネルギー流通システム株式会社（2022年12月）

- 工事施工ネットワークを全国で構築している、全国有数規模の再生エネルギー関連の工事施工会社



株式会社信防エディックス（2022年12月）

- 長野県を拠点に、避難所用の簡易型テントなどの防災用品を扱い行政ニーズ対応力に強み



岩水開発株式会社（2023年6月）

- 住宅市場及び非住宅市場の基礎補強・地盤改良分野
- 高い専門性に基づくハイレベルな技術・サービス
- 岡山県をはじめとする中四国地方を中心としたリーディングカンパニー

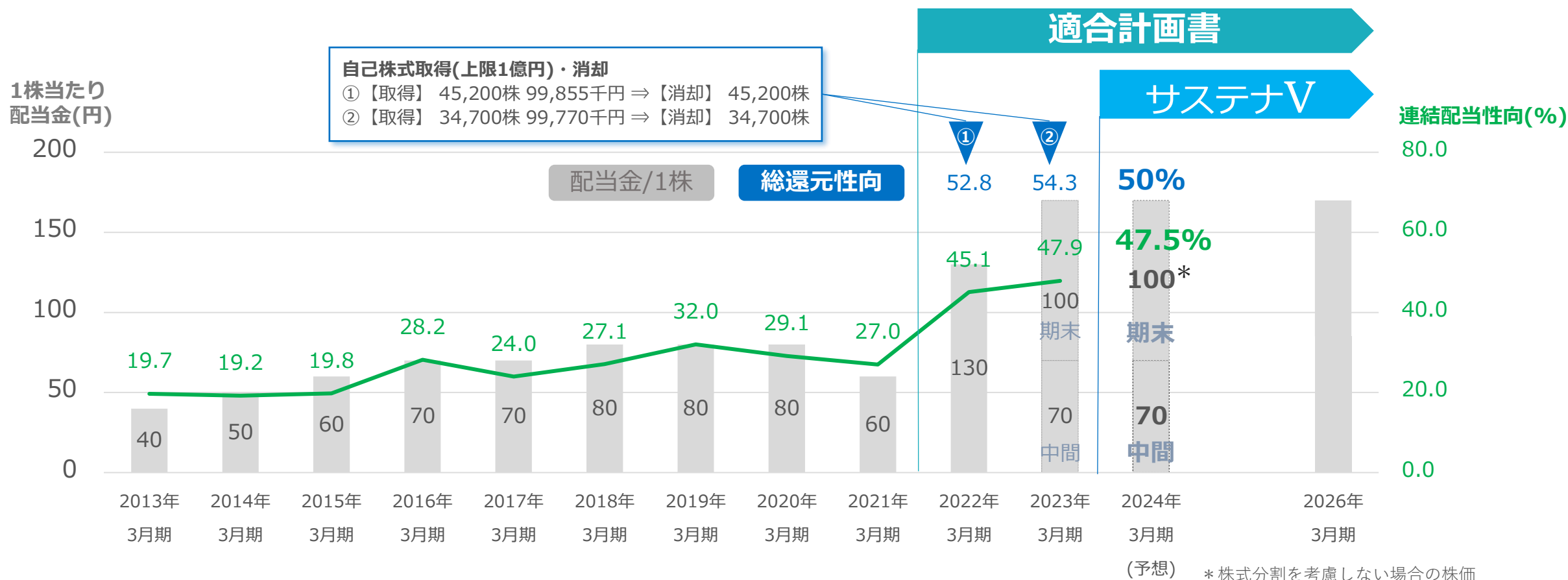


株主還元策の充実

2024年3月期～2026年3月期は適合計画書の基本方針どおり積極的な株主還元を実施

基本方針

連結配当性向40%以上 総還元性向50%
 総還元額の下限は5億円



(予想) * 株式分割を考慮しない場合の株価

4. 当社の株価の状況について

✓ 年初来高値においては、流通株式時価総額100億円超（当社算出）

	株価	流通株式時価総額
2023年9月1日（年初来高値）の株価	3,795円	107.1億円
2023年6月～8月末までの終値平均株価	3,540円	99.9億円

流通株式時価総額 = 上場株式数 × 流通株式比率 × 株価

（2023年3月31日時点）

上場株式数	4,466,273株
流通株式比率	63.2%

東証 プライム市場 適合計画発表後の株価推移

- 適合計画書の基本方針での約定項目を着実に実施した結果、株価は順調に推移
- 流通時価総額100億円を達成するために、企業価値向上に向けた行動を継続



株式分割の実施

- 当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大
 - ◆ 分割の方法
 - 基準日：2023年9月30日
 - 効力発生日：2023年10月1日
 - 当社普通株式**1株につき4株**の割合をもって分割

高島の事業は？



機能商社

建材事業
産業資材事業
電子・デバイス事業

高島の業績は？



2024年3月期 連結業績予想

連結売上高890億円 当期純利益16億円
総還元性向50%

高島の今後の
成長性は？



中期経営計画 サステナV(バリュー)

2026年3月期 連結業績予想
連結売上高1,000億円 当期純利益17億円

東証プライム市場の上場維持基準

直近の流通株式時価総額 99.9億円
2025年3月末での基準100億円以上を目指す

ご清聴ありがとうございました。
